

情勢報告（令和 8 年 7 月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

草勢維持して、梅雨を乗り切ろう！！

～米ナス目慣らし会の開催～



目慣らし会の様子

6月22日、JAれいほく園芸部米ナス部会の目慣らし会が開催され、部会員8名が参加しました。

目慣らし会では、収穫適期の米ナスの大きさや規格に沿った重量の確認などが行われました。

普及所からは、梅雨時期や高温期のかん水管理と前年まん延した病害虫について早期発見と早期防除を指導しました。

目慣らし会後は2カ所のほ場で現地検討会が行われ、黒枯病の防除時期についてやアブラムシ防除の農薬について活発な意見交換が行われました。

普及所では、米ナスの栽培技術向上を目指し、これからも関係機関と協力しながら指導を行っていきます。

大川村産業文化祭出展に向けて

～ニンジン・ダイコン栽培講習会～



講習会の様子

6月25日、大川村にてニンジン・ダイコン栽培講習会が開かれ、村民、役場、普及所から計4名が参加しました。

今年度の大川村産業文化祭の奨励品としてニンジン及びダイコンが選ばれたことを受けて開催されたもので、普及所は栽培の基礎や病害虫の防除について説明を行いました。

参加者からは土作りや有機栽培での防除方法について質問があり、産業祭に向けて意欲的に取り組もうとする様子が見られました。

今後も普及所は町村と連携し、地域の活性化に繋がる活動を支援していきます。

草生栽培などについて説明しました

～大砂子柚子生産組合研修会～



研修会の様子

7月3日、大豊町の大砂子柚子生産組合が研修会を開催し、生産者11名が参加しました。

普及所からは、本年度大豊町で実施している草生栽培の経過報告や、熱中症対策、果樹経営支援対策事業について説明しました。

説明の後、参加者から熱中症対策における経験に基づいた助言が出されたほか、環境保全型農業直接支払交付金における有機農業の取組に係る質問が出され、普及所は役場担当者とともに補足説明や回答をしました。

また、参加者同士で産地を守るために必要な方策等についての議論が交わされ、活発な会となりました。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して、持続性のあるユズ産地の育成に向けた取組を推進していきます。

「れいほく八菜」と「ししまろ」を知って！！

～出前授業 大豊学園～



シシトウの収穫体験をする生徒たち

7月7日、普及所は大豊学園2年生4名に対し、「れいほく八菜」の出前授業を行いました。

当日は教室で、「れいほく八菜」の栽培について、クイズを交えて紹介し、持参したプランター植えのシシトウで、収穫体験を行いました。また、JAのシシトウ部会で取り組んでいる「非辛みシシトウ」も紹介し、「ししまろ」をお土産で提供しました。

生徒たちは熱心に耳を傾け、収穫体験では、おもしろそうに果実を穫っていました。また、後日、「ししまろ」を食べた。辛くなかった。おいしかった」などの感想をもらいました。

普及所は、今後も、さまざまな機会をとらえ、「れいほく八菜」の消費拡大や、後継者の育成につながる活動を続けていきます。

出荷本番に向けて規格を再確認！

～カラーピーマン部会目慣らし会・現地検討会～



資料の説明をする普及指導員

7月15日、JAれいほく園芸部カラーピーマン部会は土佐町集出荷場で目慣らし会及び土佐町内の生産者ほ場で現地検討会を開催し、生産者12名、JA5名、普及所1名が参加しました。

普及所は、夏季に発生しやすい生理障害や病害への対策、腐敗果の発生防止策について説明しました。また、遮熱シートの展張による高温対策試験の中間報告も行いました。

生産者からは、「日頃の管理を徹底し、腐敗果の発生を防ぎたい」「出荷物を見ながら出荷規格を再確認できたので、選果に十分注意して出荷したい」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も関係機関と連携し、産地の生産力向上と安定生産を支援していきます。